

## 第2次草津市協働のまちづくり推進計画(案)論点整理

## 資料1

### 計画(案)のポイント

1 「学ぶ」「見える」「つながる」を中心に今後のまちづくりの展開について記載

2 さらなる充実のために、**重点的に取り組む5項目**を記載

- ① まちづくりの拠点となる(仮称)市民総合交流センターの設置・運用
- ② 課題を共有し、つながる(仮称)お互いさまプロジェクト
- ③ 専門性を活かしてまちづくりを担う市民公益活動団体の支援
- ④ 協働のまちづくりを推進するための人材育成の充実
- ⑤ 協働意識の醸成と組織体制の充実

3 協働のまちづくりの推進状況を把握するため、**目標値**を具体的に設定

目標値		H30	R5
市民の指標	① 市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合	18.2%	→ 26.0%
	② 地域の組織やグループ等に加入している市民の割合	36.5%	→ 40.0%
	③ 審議会等の女性委員比率	38%	→ 50%
各主体の指標	① ラウンドテーブル年間開催数	—	→ 12回
	② 中間支援組織が開催する地域人材育成講座の延べ受講者数	758人	→ 1,200人
	③ コミュニティ事業団が立ち上げから継続的に相談・サポート等の支援をしている公益活動団体数	3団体	→ 15団体
行政の指標	① 協働における事業展開を行うべきと考えている職員の割合	79%	→ 90%
	② 協働事業件数	307件	→ 400件

#### 目標値の設定における留意点

- ① 協働のまちづくりは各主体それぞれが取り組むのではなく、各主体が連携・協力し取り組むことから、各主体の施策展開の前に一括し記載
- ② 過去5年の積み上げではなく、より高い伸び率による数値を設定
- ③ まちづくりの担い手となる人材育成に関する目標値の設定
- ④ 「市民」「各主体」「行政」それぞれの指標を設定

### 今後の予定

- パブリックコメント(1月15日～2月14日(予定))